

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

12月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は919件（前月比7.0、前年同月比8.8）でした。本年の2月をピークに減少していましたが、11月より増加傾向にあり、例年より若干早いペースです。全国的に注意報レベルを超えてきており、流行シーズンに入ったと考えられています。熊本県でも今後の報告数の増加が懸念されます。

### 小児科定点

（全体傾向）

報告数は7,048件（前月比1.65、前年同月比1.38）と前月および前年に比し増加傾向です。感染性胃腸炎、インフルエンザの増加が目立ちます。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 334件（前月比1.3、前年同月比0.6）と例年同様10月をピークに減少傾向にありましたが、やや増加しています。水俣（39.5）人吉（17.0）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
2. 咽頭結膜熱 : 149件（前月比2.7、前年同月比0.9）で、12月に入り増加傾向です。菊池（9.8）からの報告が多いです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 477件（前月比2.0、前年同月比1.0）で、例年同様、の傾向にあります。宇城（20.5）菊池（20.4）からの報告が目立ちます。5～6才にピークを認めます。
4. 感染性胃腸炎 : 3,667件（前月比1.7、前年同月比1.5）で、例年通り8月以降増加傾向にあります。有明（129.8）菊池（129.2）山鹿（114.5）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
5. 水痘 : 203件（前月比2.1、前年同月比1.9）で、本年に入りほぼ横ばいですが、11月より増加しています。宇城（10.3）からの報告が多いです。4才にピークがあります。
6. 手足口病 : 347件（前月比0.7、前年同月比5.9）で、夏場にピークが見られず10月以降やや増加しています。菊池（22.4）人吉（13.0）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
7. 伝染性紅斑 : 12件（前月比0.6、前年同月比0.0）で、昨年に引き続き少数の報告が続いています。
8. 突発性発疹 : 146件（前月比1.4、前年同月比1.1）でした。1月をピークに減少傾向です。
9. 百日咳 : 4件（前月比4.0、前年同月比-）です。本年は22件で大きな流行はありません。
10. ヘルパンギーナ : 119件（前月比1.0、前年同月比3.8）で、例年と同じように7月をピークに減少しています。天草（9.8）からの報告が多いです。
11. 流行性耳下腺炎 : 381件（前月比1.2、前年同月比1.4）で、ほぼ横ばいで推移していますが過去2年と比較しやや多くなっています。八代（34.8）からの報告が多いです。

### 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告数5件（前月比-、前年同月比-） 1歳、3歳、15～19歳、20～29歳、60～69歳の年代に各1例の熊本からの報告です。

2. 流行性角結膜炎 : 報告数 108 件(前月比 0.9、前年同月 0.9)と少し減少しています。地域別では熊本 87 件、菊池 2 件、有明 19 件と通月と比べ、熊本以外では有明地区に多発していること、年齢別において 20~69 歳にピークが見られますが、1、2 歳の発症も目立ち、全体的には乳幼児から高齢者までの広い年齢層に発症が広がっている 2 点が特徴的です。

## STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :  
報告数 45 件(前月比 0.7、前年比 0.9)で、前月比、前年比とも減少しています。男女別は、男性に 25 件と多く見られています。年齢別は、男性では 30~34 歳に 7 件と多く、女性は 20~24 歳に 8 件と多く見られています。地区別は、熊本が 35 件と圧倒的に多く、次いで御船 4 件、八代 3 件、有明 2 件、人吉 1 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :  
報告数 29 件(前月比 1.4、前年比 1.7)で前月比、前年比とも増加しています。男女別は、女性に 16 件と多く見られています。年齢別は、男性は 20~70 歳以上、女性も 25~70 歳以上と幅広く見られています。地区別は、熊本が 18 件と多く、次いで八代 5 件、宇城 4 件、菊池に 2 件でした。
3. 尖圭コンジローマ :  
報告数 3 件(前月比 0.3、前年比 1.0)で、前月比は減少、前年比は同数でした。男女別は、男性に 2 件と多く見られました。年齢別は、男性は 20~24 歳、45~49 歳に各 1 件、女性は 40~44 歳に 1 件見られました。地区別は、熊本 2 件、八代に 1 件でした。
4. 淋菌感染症 :  
報告数 18 件(前月比 0.7、前年比 1.1)で、前月比は減少、前年比は僅かに増加しています。男女別は、男性が 17 件とほとんどでした。年齢別は、男性は 20~44 歳にみられ、女性は 20~24 歳に 1 件見られました。地区別は、熊本 13 件と多く、宇城に 2 件、菊池、八代、有明に各 1 件でした。

## 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :  
報告数 22 件(前月比 1.0、前年同月比 1.0)でした。0 歳 1 件、16 件(73%)が 70 歳以上でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :  
報告数 4 件(前月比 0.8、前年同月比 0.6)でした。30 歳代 1 件、70 歳以上 3 件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :  
報告数 0 件(前月、前年同月から増減なし)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 : 報告数 1 件(前月 +1、前年同月 +1)でした。10-14 歳 1 件でした。
2. 無菌性髄膜炎 : 報告数 4 件(前月比 1.3、前年同月比 0.8)でした。0 歳 3 件、5-9 歳 1 件でした。0 歳 3 件は全て熊本市です。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数50件（前月比 1.2、前年同月比 1.7）でした。地域は水俣(10.0)、人吉(8.0)、熊本(5.4)が多くなっています。年齢は1-14歳で78%を占めました。0歳は報告なし。
4. クラミジア肺炎： 報告数1件（前月 +1、前年同月 +1）でした。10-14歳1件でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数0件（前月 -2、前年同月 -20）でした。今冬はまだ増加が見られません。

### 届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	29件
3類感染症	： 報告はありませんでした。	
4類感染症	： つつが虫病	9件
	日本紅斑熱	2件
	レジオネラ症	4件
5類感染症	： アメーバ赤痢	3件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	後天性免疫不全症候群	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	梅毒	1件